

文部科学記者会・科学記者会
横浜市政記者会 同時発表

2023年11月7日
横浜市立大学

データでミライをデザインする。 「WiDS TOKYO @ Yokohama City University」 ライトニングトーク・コンペティションの参加者を募集します！

横浜市立大学データサイエンス学部は、WiDS*1 TOKYO @ Yokohama City University のプロジェクトにおいて、短い時間で行うプレゼンテーション「ライトニングトーク・コンペティション」の参加者を募集します。

2018年度より米国スタンフォード大学との連携で実施してきた WiDS TOKYO @ Yokohama City University では、データサイエンスの現在を見つめ、将来を語り、多くの人材をこの領域にいざなうことを目的に、シンポジウム等の活動を実施してきました。

今回、ライトニングトーク・コンペティションの開催にあたり、参加者を募集します。ライトニングトークとは、「短い時間きっかりで行うプレゼンテーション」で、今回は3分間で、発表は一人または複数人のチーム単位とし、「データサイエンス × SDGs × 任意のキーワード」をテーマとして、アイデアや今後の抱負などを発表いただき、優れたプレゼンテーションを表彰します。

<ライトニングトーク・セッション参加者募集について>

1. テーマ：データサイエンス × SDGs × 任意のキーワード
2. 持ち時間最大3分でテーマに即したショート・プレゼンテーションを実施いただきます。
3. 募集期間等
2023年11月6日(月)～2024年1月10日(水)
応募先：<https://wids-ycu.jp/lt-application/>
4. 募集対象
中学校生徒、高等学校生徒、大学生（大学院生を含む）
5. 審査等（※詳細については、添付のポスターをご確認ください）
 - (1) 一次審査：募集期間に応募のあった者について横浜市立大学データサイエンス学部教員による書類審査を行い、最大10組程度を選定します。
 - (2) 二次審査：一次審査を通過した者について、プレゼンテーション動画の提出を求め、外部有識者等による二次審査を実施。最優秀賞1組、優秀賞2組を決定します。
 - (3) 応募書類、発表にかかる知的財産権の扱い等については、従前のアイデア・チャレンジ実施にかかるものを準用します。
(参考) <https://wids-ycu.jp/challenge>
6. 審査結果、受賞動画の公表等
2024年3月13日(水)、下記webサイトにて公表します。
Webサイト：<https://wids-ycu.jp>
問い合わせ先：横浜市立大学 WiDS 事務局 dsc_info@yokohama-cu.ac.jp

<参考>

* 1 WiDS

WiDS (Women in Data Science) とは、米国スタンフォード大学の ICME (Institute for Computational & Mathematical Engineering) を中心とした世界的な活動で、性別に関係なくデータサイエンス分野で活躍する人材の育成を目的とし、世界各地でシンポジウム等を実施。日本においては、2018 年度より本学が、スタンフォード大学 ICME と連携し、国内の産官学の協力を得て、WiDS を冠したシンポジウム等を主催している。

* 2 WiDS TOKYO @ Yokohama City University アンバサダー 小野 陽子 (おのようこ)



データサイエンス学部准教授。 WiDS アンバサダーは、WiDS の地域大会の企画・実施およびデータサイエンティストの活動全般をサポートする役割を担う者として、米国スタンフォード大学より任命される。小野准教授は、日本国内で初めて WiDS のアンバサダーに就任し、産官学による連携のもと、WiDS を冠した本シンポジウムの企画・実施等の活動を行っている。

 **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS** 横浜市立大学は、様々な取り組みを通じてSDGsの達成を目指します。



WOMEN IN DATA SCIENCE
TOKYO @
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

データでミライをデザインする。

WiDS TOKYO @ Yokohama City University ライトニングトーク(LT)参加者募集

～データで考える、地域・世界、そして未来～

来るべき超スマート社会では、あらゆる分野で性別を問わず多様なデータサイエンス人材の活躍が期待されています。

2018年度より米国スタンフォード大学との連携で実施してきたWiDS Tokyo @ Yokohama City Universityのプロジェクトでは、データサイエンスの現在を見つめ、将来を語りあい、多くの人材をこの領域にいざなうことを目指し、シンポジウム等様々な活動を実施してきました。

今年度は、その集大成として、「データで考える、地域・世界、そして未来」を全体モチーフに、LTの参加者を募集します。

LTとは、「短い時間きっかりで行うプレゼン」です。

発表は一人または複数人のチーム単位とし、下記の要領に基づき、日頃お考えのこと、アイデア、今後の抱負などを「データを元に」発表していただきます。

⇒応募資格：個人またはチーム（最大5名。発表は女性に限る。チームの場合は、半数以上が女性であること。）

今回の応募は、大学院生を含む学生、生徒に限らせていただきます。

⇒応募方法：A4に、応募者氏名、住所、連絡先メールアドレス、年齢、所属、発表テーマ、要旨（400字以内）を記載したもの（様式自由・提出はPDFファイル）を、以下のリンクからご提出下さい。

⇒応募先 URL：<https://wids-ycu.jp/lt-application/>

⇒発表時間：3分以内

⇒発表テーマ：「データサイエンス×SDGs（Goalsの番号を記載）×任意のキーワード」

※SDGs（国連、持続可能な開発目標）の達成には、データに基づく思考が重要です。今回のLTでは、上記のSDGsの17目標から1目標を選び、その目標に即した斬新な発表を期待しています。

⇒審査方法：LT審査委員の投票。審査ポイントは以下の通りです。

- (1) SDGsの実現に向けた、社会へのインパクトがある内容かどうか
- (2) データを意識した提言になっているかどうか
- (3) 表現力

⇒表彰：最優秀者1名(チーム)：賞金 QuO カード 10万円分
優秀者2名(チーム)：賞金 QuO カード 5万円分
その他副賞を予定。

⇒エントリー期間：2023年11月6日(月)～2024年1月10日(水)

⇒一次審査：2024年1月11日(木)～

※一次審査通過者（最大10組程度）にはプレゼンテーション動画をお送りいたします。

⇒二次審査：2024年2月下旬～

⇒結果発表：2024年3月13日(水)：WiDS@YCU ホームページ(下記QRコード参照)にて受賞者のプレゼンテーション動画等を配信します。

主催



横浜市立大学
データサイエンス学部
SCHOOL OF DATA SCIENCE



詳細はこちらから
<https://wids-ycu.jp>

WiDS Regional Event